

# 完了後の評価個表

整理番号	3-1
------	-----

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	岩手県
事業実施地区名	面岸 (おもぎし)	事業計画期間	平成9年度～平成18年度(10年間)
関係市町村名	一戸町	事業実施主体	岩手県
完了後経過年数	5年	管理主体	岩手県
事業の概要・目的	<p>当地区は、岩手県内陸北部に位置し、馬淵川支流面岸川最上流部の面岸集落一帯を取り込むように地すべり地帯が広がっている。</p> <p>昭和48年6月に地すべり防止区域に指定され、水路工を中心とした対策工を実施、昭和52年度に概成し、以後目立った地すべり活動は認められなかったが、平成7年11月に再び地すべりが発生した。</p> <p>地すべりの機構調査の結果、地すべり活動が活発な状況であることが判明したことから、下流の集落、県道、公共施設等への被害を防止するため地すべり防止工事を実施したものである。</p> <p style="text-align: center;">主な事業内容：集水井工9基、集排水ボーリング5,812m、杭打工92本、堰堤工1基等</p> <p style="text-align: center;">総事業費：1,065,726千円（平成14年度評価時点：1,065,515千円）</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>当事業の実施により、地すべりにより被害を受けるおそれのあった集落、県道、公共施設等を保全する効果を山地災害防止便益として計上している。</p> <p>その算定基礎のうち、県道については、特段の変化は見られないが、過疎化による集落戸数の減少、小中学校は少子化による廃校といった変化が見られる。</p> <p>なお、平成24年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">総便益(B) 2,454,956千円（平成14年度評価時点：2,014,270千円）                  総費用(C) 1,662,333千円（平成14年度評価時点：1,046,107千円）                  分析結果(B/C) 1.48（平成14年度評価時点：1.93）</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>地すべり防止工事の実施により地すべりブロックが移動しなくなったことで、地すべりによる被害を受けるおそれのあった集落、県道、公共施設等の安全が確保されている。</p>		
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により整備した地すべり防止施設については、岩手県において定期的な点検を行い、必要に応じ補修を実施して適切に管理している。</p> <p>なお、集排水ボーリングの維持管理として、平成24年度に洗浄工2,668mを実施しており、平成25年度においても、洗浄工3,588mを計画している。</p>		
④ 事業実施による環境の変化	<p>地すべり防止工事の実施により地すべりブロックが安定したことで、自然植生が再生し、周囲との景観の調和が図られてきている。</p>		

整理番号	3-2
------	-----

<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>当事業の保全対象としている県道については、特段の変化は見られないが、過疎化による集落戸数の減少、小中学校は少子化による廃校といった変化が見られる。</p> <p>主な保全対象：人家51戸、県道3, 150m、公共施設（公民館、消防屯所）</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>地すべり防止施設の効果を長期にわたって発揮させる必要があるが、現時点では改善措置等の必要性は見られない。</p> <p>今後も、定期的な点検と適切な維持管理を継続して実施する。</p> <p>（地元の意見）</p> <p>事業の実施によって、地すべり活動が収まり、土砂災害の危険性がなくなったことから、地域住民が安全で安心できる暮らしが確保されている（岩手県）。</p> <p>工事施工後は、山地災害の発生もなく、周辺への影響は見受けられない。また、人家、県道、公共施設等の保全が図られており、当事業の実施効果は発揮していると考えられる（一戸町）。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地すべりの機構調査の結果、地すべり活動が活発な状況であることが判明し、集落、県道、公共施設等に被害を与えるおそれがあったことから、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 地すべり対策工の計画及び実施にあたっては、地すべりの機構調査の結果に基づき、適用する対策工法を比較検討し、現地に応じた最も効果的・効率的な工種・工法で実施するなど、コスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 地すべりブロックの安定が図られたことによって、人家、県道、公共施設等への被害の防止が図られ、地域住民が安全で安心できる生活環境が確保されていることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul>

整理番号

3

**便 益 集 計 表**  
(治山事業)事業名：地すべり防止  
施行箇所：面岸都道府県名：岩手県  
(単位：千円)

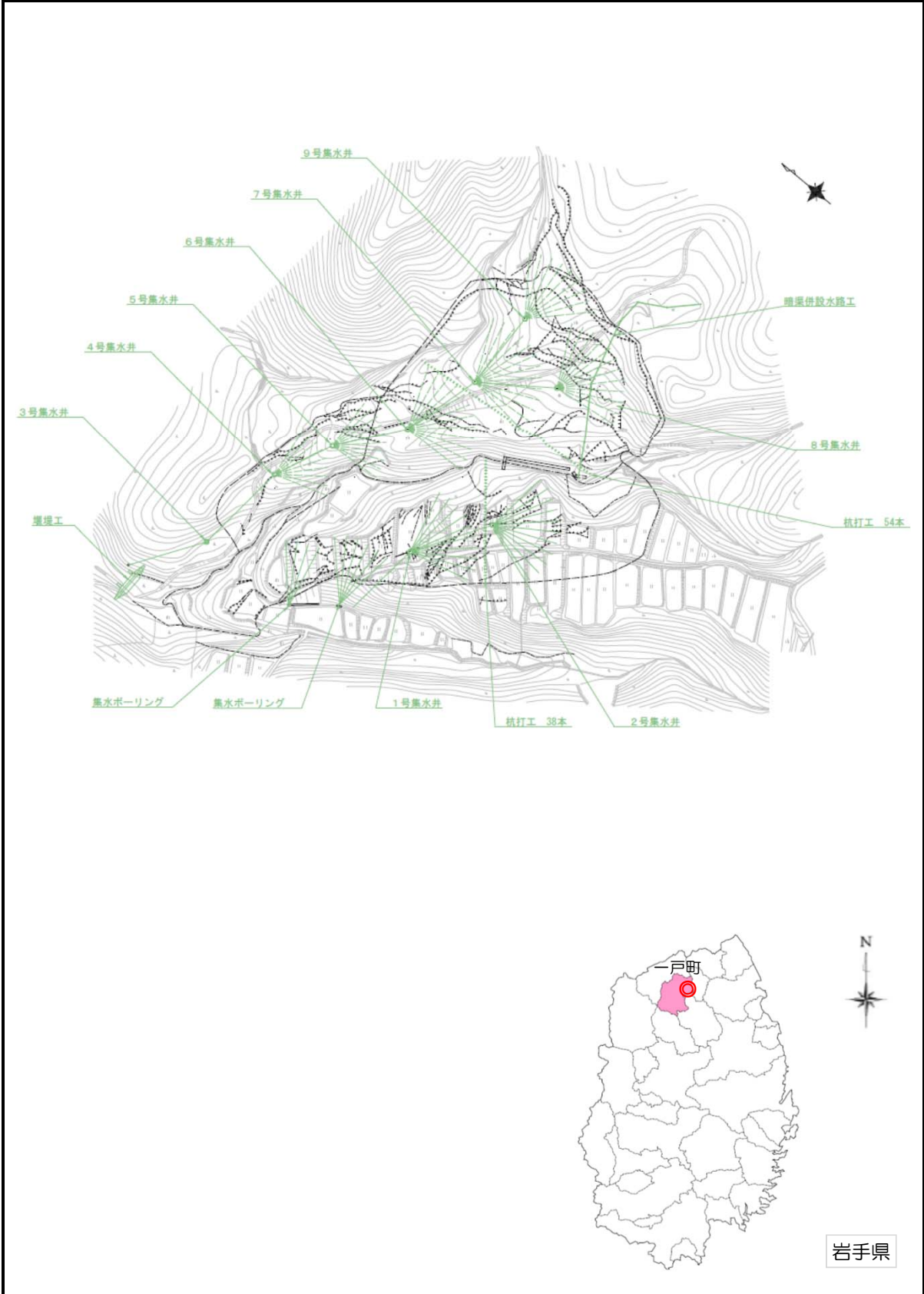
大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	2,454,956	
総 便 益 (B)		2,454,956	
総 費 用 (C)		1,662,333	千円
費用便益比		$B \div C = \frac{2,454,956}{1,662,333} = 1.48$	

# 評価箇所概要図

整理番号	3
------	---

岩手県

事業名	民有林補助治山事業(地すべり防止)	地区名	面岸
-----	-------------------	-----	----



岩手県